加賀市中期財政計画（平成28～平成32年度）平成27年度時点修正版について

1.計画の位置付け

平成26年度に策定した「加賀市中期財政計画（平成27年度～平成31年度）」の時点修正版とする。

2.主なポイント

(1) 消費税率10%への引上げ時期を変更する。(時点修正前 H27.10月 → 時点修正後 H29.4月)

(2) 合併特例債は、平成32年度までに発行可能額160.9億円全額を発行する計画とする。

H28～H32 24.9億円	うち箇所付けあり 15.3億円
	うち箇所付けなし 9.6億円

(3) 過疎債・辺地債は、「加賀市過疎地域自立促進計画」及び「加賀市辺地総合整備計画」が平成27年度で終了するが、次期計画を28年3月議会に提出予定であることから、継続事業を中心として見込んだ。

(4) 数値目標の堅持を図る。

項目	数値目標	H27時点修正における推移等
① 経常収支比率	H28以降は90%以下を維持する。	H28～H32 87.7%～90.0%で推移
② 実質公債費比率	12%以下を維持する。	H28～H32 10.5%～11.1%で推移
③ 市債残高	原則として、計画期間中増加させない。	H27末 379.6億円 ～H32末 358.5億円
④ 財政調整基金残高	20億円以上を維持するとともに、一般会計の予算規模に適した残額の確保に努める。	H27末 41.4億円

(5) 将来の財政運営上の課題に対する備えとして「公共施設マネジメント」の観点からの備えについて追加記載した。

今後、

- ・「公共施設マネジメント」基本方針に基づく施設の再配置
- ・国道8号加賀拡幅に伴う市道の整備
- ・北陸新幹線の建設に伴う加賀温泉駅舎等の関連整備
- ・環境美化センターの更新整備

等の実施に伴い、一般財源所要額の増加が見込まれることから、各年度の決算状況や、財政調整基金の残高を踏まえながら、特定目的基金の積増しに努める旨を追加記載した。